

2016 6. 4(土)  
13:30 ~ 15:00

# 第4回 着ものってなあに？

女子美術大学杉並キャンパス1号館1階110周年記念ホール  
主催：女子美術大学同窓会東京支部

## 講演会 - 染 - 「花が私を呼んだのです」

講師 森田麻里氏 (染色作家)



- 1992年 女子美術大学芸術学部工芸専攻卒業  
国展初入選 《東京都美術館》
- 1993年 国展 新人賞 《東京都美術館》
- 2009年 国展 準会員優作賞 《国立新美術館》
- 2012年 国展ミニギャラリー3人展 《国立新美術館》  
形-いろいろ 《恵比寿・ギャラリーいさら》  
想いを繋ぐ 《東京都美術館》
- 2013年 想い、巡る。《東京都美術館》
- 2014年 染・織 展 《銀座一穂堂》  
いろに想う 《東京都美術館》  
冬のおくりもの展 《銀座・ACギャラリー》
- 2015年 SQUARE 染 textile 2 《銀座・ACギャラリー》
- 現在 国画家会員 女子美術大学非常勤講師

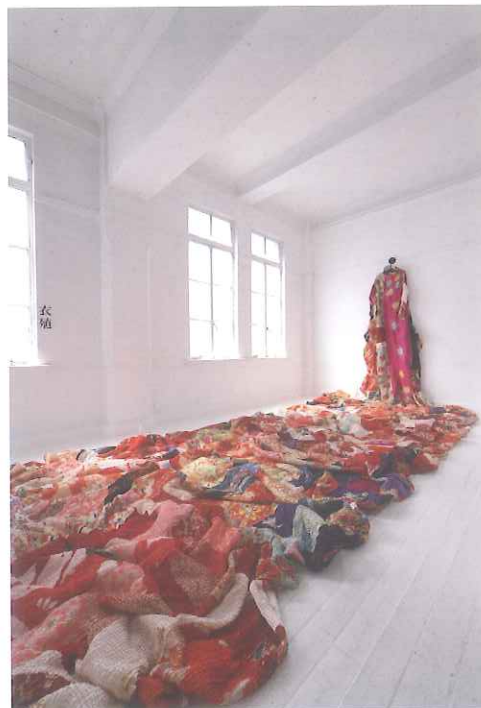
大学卒業後、自宅で型染めの帯と着物を制作しています。子供の頃から花が好きだったので、花模様を染めていると思っていました。ところがある時気付きました。私が選んでいるのではなく「私を選んで！」と発する植物からのメッセージを無意識に受け取っていたのです。その小さな姿を布に染めて大勢の方に見ていただく事が、私の役目なのかもしれません。身近にある植物とそこから生まれた染めものをご紹介します



## パフォーマンス - 雅楽演奏 -

資生堂アートディレクター

成田久氏監修



成田久氏  
アーティスト、アートディレクター  
一九九七年多摩美術大学卒業  
一九九九年東京藝術大学大学院修了  
二〇一三年キウキウカンパニー設立・主宰  
www.cuecucocompany.com  
二〇一三年NHK大河ドラマ「八重の桜」、  
尾上松也主催歌舞伎「挑む」二〇一三〜二〇一五年、  
ハナエCDジャケット&ミュージックビデオ等の  
アートディレクションを手掛ける  
台湾にて個展「衣殖」開催  
「高円宮殿下記念ローザヌナ・ガフ二〇一三」衣装制作  
雑誌「装苑」にて演劇レビュー連載中  
株式会社資生堂 宣伝デザイン部に所属

三浦元則氏  
東京藝術大学雅楽専攻卒業  
古典の演奏はもとより、新作、劇中音楽、  
メディア出演、レコーディング等多岐に渡る  
東京藝術大学非常勤講師  
瀬瀬拓也(こうけつたくや)氏  
一九九二年生まれ  
十一歳より竜笛を始める  
二〇一五年に東京藝術大学邦楽科雅楽専攻を  
卒業(アカンサス音楽賞を受賞)

## 第4回 着ものってなあに？

東京支部では「着ものってなあに？」の活動で、これまで“着るもの”の原点から進化の歴史をたどり、和服の美、着こなしの美、そして、工芸の視点から“日本の美と素材の力”を学んできました。今回は、染色家・森田麻里さんの型に込められた思いから、美しい布になるまでのお話です

また、パフォーマンスは資生堂アートディレクター・成田久さんの企画でお楽しみいただきます。ご期待ください

日時：2016年6月4日（土） 13:30～15:00

○懇談会「着ものってなあに？」終了後 会費：500円（茶菓子代）

※支部会員以外の方も参加いただけます

会場：女子美術大学杉並キャンパス 1号館 1階 110周年記念ホール

〒166-8538 東京都杉並区和田 1-49-8

最寄駅：東京メトロ丸の内線 東高円寺駅より徒歩8分

お申込み・お問い合わせ 東京支部事務局 松本

FAX・TEL：03-5318-0727

E-mail：joshibidousokai.tokyo@gmail.com

参加申込

〆切日：5月28日（土）

FAX 03-5318-0727

東京支部事務局

フリガナ お名前		支部会員 / 同窓生 / 一般
ご連絡先	〒	
E-mail		Tel/Fax
同伴者	様	懇談会 参加 / 不参加